

平成20年第1回（3月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	◎ 高野市政4年間は合併佐渡をどのように創造したか (1) 新市建設計画を高野市政はどこまで約束を果たしたか (2) 再三見直しの新市建設計画は最初から計画に無理があったと考えるが、新市建設計画は合併当初に合併協議会と法的拘束力による約束があったのか。なかったとしたら、スタートの段階から実態に合った建設的な事業計画に組み替えるべきではなかったかと思うが、市長の姿勢には減額に一生懸命で研究の跡は何もなかったと見える。今後の見直しの中から積み残しの事業計画の消化は可能なのか所見を聞く (3) 市長の最重要政策の観光施策は致命的失策の状況にある。近代旅行に不可欠な空港整備が見込みなしと、旭伸航空の撤退、佐渡汽船小木航路の減便、日本を代表する民謡“おけさ”の公演廃止、市長の無策が観光誘客に決定的なダメージになっている。唯一の基幹産業である観光産業に画期的な明日はあるのか、対策案を示してもらいたい (4) 市長は実に厳しい財政状況を実感しているはずだが、再出馬を表明している限り、自信のある佐渡市を今度こそ躍進する政策を示した上で自信の限りを表明していただきたい (5) 2007年度比80億円減の13年度予算案が財政計画で示されているが、財政健全化の指標である実質公債費比率は市長が計画する事業に影響はないか。07年度の15.9%から13年度には17.9%まで上昇し、ますます夕張市に近づくが本当に市長の考える財政計画に安心した市政を期待してよいのか (6) 2月23日～24日の春の嵐で大きな被害が佐渡市にも出ている。特に前浜線は恒常的に道路が決壊するが、今度も羽二生海岸から立間までの被害が大きく出ている。私が声高に要望している県道赤玉両津港線の早期実現は天の声だと思うが、この被害の実現とこの道路の緊急使用の実態を県に認めさせるチャンスだと思う。海岸線が決壊にはいつも緊急使用に赤玉線は活用されて、掛け替えのない代役をしている。この重要性を考え拡幅に全力を挙げるべきだと思うが、いかがか (7) 1期目の政策選択の間違いから重要なライフラインの整備もできない状況をどう考えるのか。過疎地の住民は最新鋭のイントラネットよりも非常事態につながる安心できる道路が必要だと願っている。過疎地や限界集落の方々は合併により、せめての道路の確保を強く望んでいる。費用対効果を最初にありきではなく、何とか政策研究の中から結果を出すべきと考えるが所見を聞く (8) 来期の高野市政の力点があったら聞きたい	大澤祐治郎
2	1 小木・直江津航路の関係者会議合意事項について ○ 合意事項とはどのような内容か 2 マリンレジャー拠点「さどおぎ海の駅」構想から (1) 市の関与と負担率は (2) 建設予定年度、規模、機能、付属施設等の詳細情報を求める	村川四郎

順	質 問 事 項	質 問 者
2	3 公民館活動と公共施設の利用について (1) 公民館活動へ積極支援を。市の姿勢は後ろ向きではないか (2) 各施設の使用料設定の根拠や負担率は一定か（社会福祉協議会や指定管理施設も含む） 4 なぜ進まない、住民不在の地域医療への取り組み姿勢 ○ 市民病院改革、医師確保、佐渡総合病院建設等は逆行している 5 教育現場でのフッ素のうがい事業の再開は認めない (1) インフォームドコンセントが不十分、現場で情報が操作されている (2) 薬害事件に発展する危険性もあるのではないか 6 「ガソリン価格を下げて道路を造る」べき (1) 道路特定財源への市長の考えはいかに (2) 国会の議論は、佐渡市にとって、また市民にとってどちらが得か (3) 佐渡市の本当に必要な道路とはどこか (4) 全国離島のリーダーとしてガソリン税撤廃行動を起こすべき	村 川 四 郎
3	第2期高野市政となることを前提として質問する 1 出前市役所等市民との対話を通じて得られた市政への意見・要望等で予算に反映できたものがあるか 2 この任期中に具体化したいものは何か 3 次の諸点について考えを問う (1) 市民を主体とした地域自治組織の強化。市長・議会・行政は召使役。身の丈（市税等）に合った政・官のスリム化を図ること (2) 公有財産の評価と有効活用（指定管理→民営化）の更なる進行 (3) 佐渡総合病院を中核とした医療のネットワークの構築と公立病院の民営化を促進すること (4) 病院周辺を老・病者の安心安全な居住地域に整備すること (5) 出産援助制度の拡充（妊婦健診料・出産費の無料化）を図ること (6) 小中学校の統廃合促進（体育・クラブ活動の合同・校区の廃止） (7) 年金受給者の活力を福祉・保健に導入し、生涯現役の助け合い・分かち合いの互助組織を育成すること (8) 稲作経営の安定化策の推進とともに、多様な農産物栽培と地産地消の仕組みをつくること (9) 島出身者が気軽に安価で訪島できるよう滞在型の宿所の提供と交通費の割引を実現すること (10) 市街化地域の下水道接続促進のための補助増、田園地域の下水道敷設の見直しの実施 (11) 芸能、伝統文化の継承と人材育成を支援し、「佐渡学」の構築に資すること	田 中 文 夫
4	1 若者が定着できる将来ビジョンについて 佐渡市の現状は、合併による大きな期待感と現実感にギャップが生じているのは否めない。この4年間はいわば黎明期であり、これからは太陽が燦々と輝くとまではいかなくても薄日の射すような政治が求められる。現状のま	臼 杵 克 身

順	質 問 事 項	質 問 者
4	まか、将来に夢を持てるかの岐路にある。 (1) 現状認識を聞く (2) 市民に希望の持てる若者が定着できる将来ビジョンを示し、合併の効果を早く上げることが重要と考える。その具体策が平成20年度予算に盛り込まれているか。中期の構想も聞きたい (3) 能登～佐渡～村上・山形方面との広域的な観光ルートの開発を進めてはどうか (4) 世界から観光客誘致を図る上で、また佐渡の産業の発展には空港整備が不可欠である。空港整備計画の推進についての決意を聞きたい 2 公の施設の統廃合の推進について (1) 計画種類及び区分ごとに旧市町村別に件数 (2) 養護老人ホームやデイサービスセンター等、概して福祉施設の民間移譲件数が多い。運営上の問題は生じないか (3) 相川地区での消防団の統廃合による消防小屋の改築、移譲、撤去とあるが、消防活動に支障は来さないか (4) 民間移譲を進める上で補助金適正化法が隘路^{あいろ}とならないか。見通しはどうか (5) 計画どおり民間移譲できた場合、市にどの程度の歳入が見込めるか 3 改正建築基準法の施行に伴い建築確認審査が厳しくなったことにより、どのような影響が出ているか (1) 平成19年中の佐渡全体の確認申請と認可された件数を把握しているか (2) 佐渡地域経済に及ぼす影響額は把握しているか。またその対応策を改めて聞きたい (3) 佐渡市発注の工事の進捗が遅れているが、現状はどのようになっているか ・真野小学校改築工事及び消防本庁舎建築工事 (4) 原油の高騰により建築資材等の値上がりや工期の大幅延長により、今後新たな財政負担が生じないか 4 都市計画マスタープラン策定状況について (1) 進捗状況はどのようになっているか (2) 特別用途地区制度は導入されるのか ・大型店の出店制限が必要と考える。現行の規制基準を離島に即した基準にするよう政府に求める考えはないか 5 補助金等交付条例を制定する考えはないか	白 杵 克 身
5	◎ 平成 20 年度当初予算案と問題点について (1) 職員給与 3 %減額と特別職給与等改正に見られる問題点について (2) 組織改革と今日的課題について ① 施政方針の環境、エネルギー、医師対策について ② フッ素問題での市民への約束不徹底による混乱について、給食センター用地取得に見られる教育委員会の審議等について ③ 両尾、羽二生水道問題未解決に見られる若干の問題について	加 賀 博 昭

順	質 問 事 項	質 問 者
5	(3) 合併がもたらしたヒズミを緩和する視点の欠落が行政にないか（映画「マリと子犬の物語」の両津上映の回避について） (4) 後期高齢者医療特別会計の問題点について (5) 法外な離島の燃油高騰対策は、佐渡から中央に行動を起こす必要性について (6) 高波被害の教訓から何を学んだかについて	加 賀 博 昭
6	1 農業振興について (1) 地域水田農業活性化緊急対策について (2) エタノール米について (3) 米の戦略的販売について 2 林業振興について (1) 森林整備の担い手について (2) 加工・流通について (3) 佐渡杉ブランドの認証について 3 トキの試験放鳥について (1) 実施時期について (2) 天皇陛下の行幸について (3) 放鳥記念式典について 4 農振除外について (1) 本年度の申請件数と許可件数について (2) 遅れた原因について (3) 来年度以降の取組みについて	金 光 英 晴
7	1 産業振興策について (1) 地産地消担当を決め、地産作物の消費率を高めることに努めているが、成果と現状を聞きたい (2) 学校給食の実態について、建設中の給食センターの進捗状態と開始準備の状況 (3) 学校給食の米飯100%実施が佐渡市はなぜできないのか (4) 米は100%佐渡地産だろうが、その他主な納入食材の地産の比率。中国産冷凍食品など輸入食材使用の有無と納入先（島内の%、商社の%） (5) 米を除く佐渡産品の島外出荷農産物の額と量のベスト10 (6) 観光対策として、すべての宿泊施設、観光施設（昼食）を含め、佐渡産コシヒカリの使用比率と消費率向上の対策 (7) 農薬混入餃子事件を教訓に、国内における食料品の自給率向上が緊急の課題となっている。対策と対応を聞きたい (8) 私が提案してきた、65歳以上の人が利用できる路線バス、ワンコイン乗り放題の実施は前向きな答弁であったが、4月実施と理解してよいか (9) 観光対策として、すべてのバス路線に1日乗り放題1,000円の実施 (10) トキの放鳥、世界遺産の登録に向け、佐渡の注目度が高まると同時に、受入れ態勢を整えることとサービス基準の徹底が必要と考えるが	祝 優 雄

順	質 問 事 項	質 問 者
	2 航路と空路の確保について (1) 県は別にして、佐渡市が私企業「佐渡汽船株式会社」支援を続けることは、行政の持つ公平性を著しく欠くと考えるが、支援の明確な根拠を示してもらいたい (2) 昨年の小木航路の支援の結果を見ると、佐渡市は5者協議から脱退すべきと考えるが、何のための支援なのか (3) 昨年の小木航路支援策を利用した人数と費用。費用対効果を具体的に (4) 何のために収益航路の両津・新潟便のジェットフォイルを減便してまで、小木・新潟便を作るのか。常識度と経営感覚を疑う (5) 小木航路の1隻体制は航路維持の苦肉の策である。「佐渡汽船」の再建が遅れることで、航路維持が難しくなることがなぜ分らないのか (6) 収益を上げるために持てる資源を集約、両津・新潟航路に特化して収益性を高めるのは、経営のいろは (7) 国土交通省が予算化した、海上を国道に指定している航路と離島の経済効果などの調査について、事業内容を聞きたい (8) 空港整備の現状と問題点 3 病院・介護・福祉施策について (1) 介護福祉施設の整備が進んでいるが、現状で施設入所待ちの人の数と今後の推移予測。建設が進んでいる2施設が完成したときの待機者の数。今後の施設整備の見通し 7 (2) 介護施設の県の「支援計画」「佐渡の事業計画」では、どのようになっているのか (3) 病院経営について病院運営委員会が経営を含む佐渡における医療の在り方を検討協議し、中間報告が提出されたと聞くが、主な内容を聞きたい (4) 県に求める佐渡医療圏の確立と県の責任、県の考え方を聞きたい (5) 県は佐渡にどの程度の医療が最低限必要と言っているのか (6) 県立病院の医療圏別、平成18年度決算で見る支出額 (7) へき地医療活動計画 (8) へき地支援病院と支援内容 4 行政改革について 組織改革の計画が示されたが、どこを何を改革し、何人スリムになり、この計画では住民サービスがどのように向上するのか、具体的に聞きたい (1) 市長部局と一般行政職員をどのような手法で、具体的に減員するのかの説明が必要 (2) 事業系事業を新組織化、行政法人か企業局を設立分離するくらいの覚悟が必要ではないか 5 ガソリンの特定財源について (1) 島内のガソリン価格、「日本一高い」石油製品の価格解消対策を聞きたい (2) ガソリンの消費税について、ガソリンの価格に特定財源・暫定税率を併せ、消費税を賦課しているが、税に消費税を賦課する根拠を聞きたい	祝 優 雄

順	質 問 事 項	質 問 者
8	1 安全・安心のまち（地域）づくりについて (1) 2月23日～24日早朝の高波被害について、相川地区の防波堤の決壊はなかったが、両津地区の鷺崎、水津の堤防決壊があった。構造や設計・施工上等で問題点はなかったのか。また、復旧のめどは (2) 相次ぐ火災の現状を見ると初期消火の大切さを痛感する。新興住宅地の消火栓設置の現状について聞く (3) 新興住宅地の宅地造成は、社会資本設備のスピードより早い。若い世代の子育て家族が目立つが、街路灯の設置状況と計画は 2 学校給食（食育）について (1) 最近話題の中国産野菜、冷凍食品等の使用はないのか (2) 地産地消（佐渡産）は当然必要と考える。その比率は (3) ガソリンや油の高騰で学校給食費も直撃されるはず。小・中学校の給食費の現状を聞く (4) 佐和田学校給食センター運営委員会では、どのように対処したのか 3 観光振興について (1) 観光行政における体質改善について (2) 今年度新たな観光目玉について	廣 瀬 擁
9	1 市民環境行政について (1) 2月24日高波被害地域にごみ袋の支給支援の考えは (2) 古紙リサイクルの対応と佐渡市集団資源回収活動について (3) 戸籍の続柄表示について (4) 国民健康保険税を世帯主に課税する根拠とその影響について 2 子育て支援について (1) 出産祝金について (2) 紙おむつなどの対象児に、ごみ袋支給を (3) 子育てを楽しめる社会づくりについて 3 教育行政について (1) 教育予算の充実について (2) 通学路の整備と安全対策の取組みについて (3) 児童・生徒の放課後居場所づくりについて	本間千佳子
10	1 平成20年度施政方針について 平成18年度決算審査意見に対する方針を問う。 (1) 市道用地等の登記未済について ① 登記の遅れている原因 ② 税金還付の意思 ③ 今後の対応 (2) 市税等の収入未済について ① 決算後どう動いたか ② 徴収姿勢に問題はなかったか ③ 時効の問題 ④ 今後の対応	肥 田 利 夫

順	質 問 事 項	質 問 者
10	(3) 地方公会計改革に対する取組みについて (4) 監査体制の強化策について (5) 陸上競技場の建設について (6) C N S テレビと佐渡テレビとの経費負担について (7) 空港対策事業について ① 県の平成18年度分の要綱 ② 業者からの要請書 ③ 空港整備事業の進捗状況 ④ 今後の対応 (8) 佐渡市特別会計条例について 2 組織改革計画と庁舎位置について	肥 田 利 夫
11	1 市長の政治姿勢について (1) 今年の施政方針には、昨年設置した「特命担当」を意識した文言は見当たらないが、行政の継続性からいうと施政方針の中でふれる必要はあったのではないか (2) 過去4年間、旧市町村を単位として地域の特性を生かした施策の展開というものは、ほとんど試みられなかったと思うが、今年の施政方針からも何ら読み取することはできないか (3) 引き続き市長職の任に当たりたい理由として、過去4年間の任期で成し遂げられなかったものがあると聞くと、それが何であるかについては、今年の施政方針に表れていると理解してよいのか 2 市の組織改革について (1) 部制について ① 総務常任委員会において、部制をとることに否定的な考えが大勢を占めたが、あえて部制を続けた理由は何だったのか ② 部制をとるといふのであれば、部長職については権限・責任・任期等を明確化して、特別職に近いような形の工夫も必要ではなかったか (2) 本庁内部及び支所機能の改革について ① 本庁の部署によっては、一部、課を廃止し室とする。また、逆に課を新設し、室を廃止する等の試みが見受けられるが、これには一体どのような考えが背景にあるのか ② 本年4月から支所によって組織機能に差異を生じるようだが、今回の改革には合理的な理由に欠けるところが見られるが 3 行財政の効率的な運営について (1) 温泉施設の廃止について ① 市内に10か所ある温泉施設について廃止が進められているが、今後どのようなようになっていくのか ② 存続か廃止かの選択基準はどこにあるのか (2) 公営駐車場について ① 市内には、旧市町村時代に造られた公営駐車場が多数あるが、管理・使用状況が統一されていないことに問題はないか	松 本 展 国

順	質 問 事 項	質 問 者
11	② 両津港公営臨時駐車場は、平成19年に整地・砂利敷き、駐車区画をし、券売機を設置して有料化したが、利用率が10%前後であることに問題はないか 4 市の航路及び空路への対応について ○ 佐渡の航路・空路を維持・存続できるだけ財政的体力は、当市では限界に達している。全国離島振興協議会の会長である市長は、離島に対する交通政策はどうあるべきか、法整備・制度改正を求めて、国と交渉すべき時期にきていないか	松 本 展 国
12	1 2月24日の冬季風浪被害について ○ 被害状況、復旧対応、検討課題等について 2 妊婦健康診査に対する公費負担について ○ 厚生労働省は、昨年1月16日、「妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について」という通知を出し、「高齢やストレス等をかかえる妊婦が増加傾向にあり、就業等の理由による健康診査を受診しない妊婦もみられ、母体や胎児の健康確保を図るうえで、妊婦健康診査の重要性、必要性が一層高まっている」と。また、「少子化対策の一環として、妊娠中の健診費用の負担軽減が求められており、妊娠・出産にかかる経済的不安を軽減し、積極的な妊婦健康診査の受診を図るため、自治体における公費負担の充実を図る必要がある」とし、地方交付税で少子化対策を拡充したので、妊婦健康診査に係る公費負担の回数は14回程度にすることが望ましく、財政上困難な場合も、最低限5回程度の公費負担を実施することが原則であるとしている。 この通知を受け、2007年度は、県内35自治体中、糸魚川市が国の基準を上回る15回、16自治体が5回の公費負担を実施している。少子高齢化の進む秋田県では全自治体が8回以上実施している。 本市の07年度の妊婦健康診査に対する公費負担の回数は何回か。また、08年度は何回を予定しているのか 3 市立病院の無料バスについて ○ 両津・相川の2市立病院への無料バスをやめ、新潟交通佐渡の有料バスに切り替える検討を始めたと新聞報道されたが事実か 4 ケーブルテレビについて (1) 市は佐渡テレビに、1加入世帯当たり月525円の番組購入料を払い、佐渡テレビが敷設したケーブルについては、1世帯当たり月105円のケーブル使用料を払っているが、07年度の番組購入料とケーブル使用料は、それぞれいくらのぼる見込みか (2) 佐渡テレビは、旧町村や佐渡市が敷設したケーブルの使用料を市に払っていない。市が佐渡テレビに払っている1世帯当たりの使用料と同額のケーブル使用料を佐渡テレビに課した場合、07年度の試算で市の収入はいくらになるか 5 県立佐渡中等教育学校（中高一貫校）への中学校からの高校編入について ○ 県立佐渡中等教育学校に、他の中学校からも進学できるよう学級増も含め県教育委員会に強く働きかけるべきではないか	中 村 良 夫

順	質 問 事 項	質 問 者
13	1 高野市長の平成 20 年度予算編成の目玉政策は何か聞きたい (1) ふるさと納税制度に対する市の取組み状況について (2) 組織改革により本庁中心型になったことで、本庁の駐車場整備、職員の異動による通勤費の推移について聞きたい (3) トキの放鳥を機にメディアを活用した佐渡宣伝を考えるべきと思われるが (4) 佐渡空港用地問題は既に十数年経過している。予定地の変更も視野に入れて検討すべきでないか (5) 携帯電話の不通地域の解決は、いつごろになる予定か 2 福祉行政について (1) 少子化対策として、全国 1 番目に出産費の無料化の計画をしてはどうか (2) 敬老会、敬老祝金の内容について聞きたい (3) チャイルドシート購入補助金について聞きたい 3 農業行政について (1) 認定農業者の面積要件の見直しをすべきではないか (2) 各種イベントへの補助金等を見直しはどのようなになったのか (3) 飼料価格の値上がりで畜産農家は大変な状況にあると報道されている。市では何か対応を考えているか 4 教育行政について ○ 学校統合問題は旧市町村の枠を越えた学区の見直しを考慮して進行すべきと思われるが	島 倉 武 昭
14	1 合併の是非 ○ 合併後 4 年間を経て、一島一市の合併に対する市長見解 2 行政改革 高野市政 4 年間の総括と平成 20 年度及び今後の計画 (1) 焼却場、火葬場の 20 年度及び今後の統合計画 (2) 本庁機能、支所・出張所、部長制の 20 年度及び今後の計画 (3) 人件費の 20 年度及び今後の具体的削減計画 (4) 市営テレビと佐渡テレビの 20 年度及び今後の運営計画 (5) 航路と空路の 20 年度及び今後の運航計画 3 農業政策 (1) 現行の国の農政に対する市長見解 (2) 佐渡の米政策の 20 年度計画 (3) 米飯給食の 20 年度及び今後の計画 4 ガソリンの本土との価格差解消策 5 指定管理者（サン・スポーツランド畑野、両津野球場、勤労青少年ホーム）問題の決着結果 6 厚生連病院改築に係る市の対応 7 冬季 2.24 風浪被害の状況とその対応	近 藤 和 義